

自治会・回覧

会員各位

'10.04.26

桜台自治会
会長 笹野 哲郎

●赤十字活動資金へのご協力をお願い

赤十字では、毎年5月・6月を「赤十字運動月間」として、活動資金(社資)の募集活動を行っています。

日本赤十字社は「人間のいのちと健康、尊厳を守る」ことを基本理念とし、さまざまな人道的活動を展開しております。

また、赤十字の諸活動は中立性と独立性が求められていますので、公的資金によらず、皆様からのご協力によって賄われております。別紙の資料をお読みいただき、その主旨をご理解いただき活動資金のご協力をお願いします。

募金金額は、500円を目安としますが、その金額についてはあくまでも強制ではありませんので、ご支援はいくらでも結構だと思います。

なお、班長さんにはお手数ですが、6月15日までに集金をしていただき自治会事務局までお願いします。

以上

今年度活動スローガン：

みんなで創る 安全で安心の 美しい町

桜台自治会ホームページ：<http://www.i-sakuradai.jp>

苦しんでいる人を救いたい。
その気持ちで、私たちがつないでいる。
赤十字を支えている。

社員4年目 藤原紀香



社員2年目 高田真由美



社員10年目 宮口英剛



社員23年目 清水裕子



社員3年目 亀井四介



社員4年目 西原成一



社員15年目 相馬健

命を救う、力を合わせよう。

 **日本赤十字社** 千葉県支部
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。
Together for humanity

社員への申込、寄付・奉仕活動への参加などのお問い合わせは

日本赤十字社千葉県支部

検索

☎043-241-7531 www.chiba.jrc.or.jp

活動資金にご協力ください。

赤十字思想誕生150周年

～わたしたちの世界、あなたの行動～

わたしたちは、

苦しんでいる人を

救いたいという思いを結集し、

いかなる状況下でも、

人間のいのちと健康、尊厳を

守ります。



©Talia Frenkel / American Red Cross



日本赤十字社は

一刻もはやく命を救うために

本年1月12日に発生したハイチ大地震では、翌日、被害状況の調査のため職員を派遣。1月17日、続いて2月13日には医療チームを派遣し、被災地での支援にあたっています。 ※派遣状況は平成22年2月末現在

世界の笑顔を取り戻すために

HIV罹患率が高く、エイズ孤児の増加や食料生産の低下を引き起こしているジンバブエには、看護師を派遣し、予防教育や保健・衛生活動を行っています。

悲劇を繰り返さないために

2004年に発生したスマトラ島沖地震で、甚大な被害を受けたスリランカに5年に及ぶ復興支援や、海の災害から命を守る救助技術を普及してきました。

大規模災害に備えるために

東京湾北部地震や千葉県東方沖地震など、予想される大規模災害に備え、災害救護(医療)チームの整備、災害救援物資の配備などの体制を整えています。



平成22年度 赤十字事業のあらまし

平成22年度、千葉県支部は皆さまからお寄せいただく資金をもとに、次の事業を実施します。皆さまのご協力をお願いいたします。



総額 843,838千円

日本赤十字社千葉県支部 平成22年度に計画している主な事業

～災害救護体制の強化充実～人々の安心を届けます

- 災害救援物資保管倉庫など救護装備の整備
- 災害時救護要員の知識と技術の向上
- 地域における防災ボランティア体制の強化

～国際活動の充実～あなたの援助が世界に届く

- カンボジア義肢供給支援/地雷犠牲者支援支援
- ネパール及びモンゴル青少年教育等支援
- パキスタン紛争犠牲者支援と国際救援要員の派遣

～健康・安全のための知識と技術の普及～大切な人、守れますか

- 県民31,000人を対象とした救急法等講習会の開催
- AEDトレーナー等各種講習会資機材の整備
- 「ゆめ半島千葉国体2010」における臨時救護の実施

～ボランティアによる活動～たすけあう心

- 地域防災活動や高齢者・障がい者生活支援等地域ニーズに応じた活動の展開
- 学校教育と連携した総合学習、体験学習等学校行事への参加協力

～青少年赤十字の活動～人を思いやる気持ち

- 「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の具体的な青少年赤十字活動の充実・強化

～看護師の育成～人間性豊かな看護師を

- 災害救護や赤十字病院に従事する人間性豊かな看護師の育成

～医療事業の充実～地域社会の健康を守って

- 地域医療への貢献、患者サービスの向上、保健衛生活動の推進

～血液事業の推進～安全性の高い血液を安定的に

- 輸血用血液の安全性の向上と安定的確保



あなたも赤十字社員に!



～ひとりひとりの社員が赤十字を支えています。あなたの想いをカタチにします。～

日本赤十字社の「社員」と財源

日本赤十字社および同定款では、日本赤十字社は「社員をもって組織する」、「社員は社費として毎年500円以上を納入する」とされています。

ここでいう「社員」は株式会社などの会社員という意味でなく社団法人の社員または会員と同様のものです。

赤十字事業の趣旨を理解し、これを支持する人は老若男女を問わずだれでも社員になることができます。

日本赤十字社の主な財源は、社員が納める社費のほか、任意に寄せられる寄付金があり、これを総称して「社資」と呼んでおり、赤十字事業は、社資によって支えられています。



- 社員の申込みは、一人ひとりの自由な意思でお願いするもので決して強制ではありません。



- 「任意の金額で協力したい」など、社員(会員)としてではなく寄付としてのご協力も随時受け付けております。
- 口座引落としによる社員申込みもごさいます。

お問い合わせ・お申込みについては、下記までご連絡下さい。

赤十字思想誕生 150周年記念

日本赤十字社所蔵美術展 ～あなたに届けたい「人道」への想い～

日本赤十字社が所蔵する多くの美術品は、赤十字の根底にある「人道」に共感した美術家の方々から寄贈されたものです。

今回の展示を通して、美術家お一人おひとりの「人道」への想いに触れていただくことができれば幸いです。

絵画、版画、陶芸、金工など約60点の作品

東山魁夷、梅原龍三郎、東郷青児、清水六兵衛、酒井田柿右衛門など

期 間 平成22年5月1日～30日
6日、10日、17日、24日休館

会 場 千葉県立美術館（千葉市中央区）

入場料 300円



日本赤十字社 千葉県支部
Japanese Red Cross Society

〒260-8509
千葉市中央区千葉港 5-7
TEL 043(241)7531(代表)
FAX 043(248)6812
<http://www.chiba.jrc.or.jp>

